

VI. 研究

1. 研究活動

(1) 研究業績

1) 研究業績基準

<著書>

(11 学術書) 博士論文、単・共・編著を問わないが直接執筆に参加した専門書。編者のみの場合は(12 その他)とする。

(12 その他) 学術書以外の専門分野の著書(教科書、入門書、啓蒙書等)。

<学術論文(原著論文)>

(21 学会誌) 学会誌及び専門誌等で査読を受けた論文。

(22 紀 要) 査読を受けた紀要論文。査読を受けない論文は(23 その他)とする。

(23 その他) 上記以外の学術論文。

<学術論文(総説)>

(24 総 説) 学会誌や専門誌などに掲載された総説、解説、展望等。

(25 その他) 研究報告。

<翻訳>

(31 学術書) 専門書及び専門分野における教科書、入門書等。

(32 その他) 専門分野以外の翻訳書。

<作品及び演奏発表等>

(41 作品及び演奏発表等)

情報処理による絵、音楽等の作品で公的に発表されたもの。

体育・スポーツの分野における作品で公的に発表されたもの。

(例：ダンス、体操などの発表)

<学会記録>

(51 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で記録に残るもの。

(52 特別講演)

(53 シンポジウム、パネル)

(59 その他)

<口頭発表 記録に残らないもの>

(61 一般発表) 学会及び各種学術研究会での発表で、その内容は記録に残らないが発表年月日・機関・題目が残るもの。

(62 一般発表)

(63 シンポジウム、パネル)

(69 その他)

<その他の文筆活動>

(71 その他の文筆活動)

公的に発刊された出版物に掲載された著作で、専門・専門外を問わないが業績としてふさわしい水準のもの。

<その他>

(81 外部資金獲得)

(89 その他) 上記の全ての業績区分に含まれないが、業績としてふさわしい水準のもの

(注) 本基準の運用については各学科に任せるものとする。

2) 研究業績一覧

学科	著書		学術論文		翻訳		作品演奏		学会記録		口頭発表		その他の文筆活動		その他		計
	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	単著	共著	
情報処理学科	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	4
国際文化学科	1	-	1	1	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	1	-	8
計	1		3		-		-		6		-		1		1		12

<研究業績表の見方>

著者・発表者	著書・論文・演題名等		
発行所・掲載誌・学会等	巻・号	ページ	発表形態
概要			

<研究業績内容>

《情報処理学科》

矢原充敏、藤本邦昭、原田裕二郎、松本欣也	A 2-mode digital FLL using frequency comparator corresponding to cycle slip		
ICIC Express Letters	Vol. 8, No. 9	pp. 1271-1278	学術論文 (学会誌)
本論文では、全デジタル構成の2モードFLLを提案している。本回路は、高速引込み回路を用いることにより、入力信号の1周期で周波数引込みを完了するだけでなく、その出力信号の位相は入力信号に一致する。また、入力信号に対して極めて正確な出力信号の周波数を得ることができると共に、その同期範囲は極めて広い。さらに、本回路は入力信号と出力信号間のサイクルスリップにも対応しており、低出力ジッタの安定した出力信号を得ることができる。			
宮川幹平、北濱幹士、八尋剛規	地域学習におけるラーニングeポートフォリオの活用実践		
私立大学情報教育協会 平成 29 年度教育改革ICT戦略大会			学会記録 (一般発表)
プロジェクト学習のテーマとして地域学習を取り上げた際、大きな課題となるのは、フィールドワークに代表される学外活動について、その場限りの受動的なイベントとならぬよう、いかに学生主体の学習を生起させ、持続発展させるかという点である。特に、所属の異なる学習者や、学習対象である地域に関連する人や組織との直接的な関わりは、普段の教室内の学習だけでは得られない貴重な経験を学生に与えるが、それらを学生自身の気づきや省察に基づく主体的な学びのサイクルに繋げるための教育的方略が必要と考えている。本研究は、上記を踏まえ、eポートフォリオを活用した地域学習の実践を通じて、学生に対する教育効果の検証とともに、どのようにシステム利用を学習プロセス全体の中に組み込むか、教員や地域関係者の役割分担や連携体制をどう構築するかなど、eポートフォリオ活用に関する教育工学上の知見を得ることを目指すものである。			
八尋剛規	Web コンテンツ作成実習用フロントエンドの開発と実践 (第2報)		
日本産業技術教育学会 第30回九州支部大会 講演要旨集		pp. 51-52	学会記録 (一般発表)
実習をWeb環境上で行えるようにシステム(仮称: WebEditor)を開発した1)。数年間にわたり実践を行いながら、並行して学生からの要望を吸い上げ、それをシステムに随時反映させ、今日に至る。第1報以降、プロジェクト管理機能、faviconおよび編集中央ファイル一覧表示機能、チャット機能を追加している。(熊本大学)			
宮川幹平	市民主体による「むなかた電子博物館」の運営		
月刊J-LIS		pp. 23-28	その他の文筆活動
宗像市と市民の協働に関するモデルケースとして、既存施設を持たず、ウェブ空間のみに存在する「むなかた電子博物館」の活動を取り上げ、その運営に関わった役員の一人として、これまでの成果と今後の課題について説明を行った。			

《国際文化学科》

神山高行	エリザベス朝演劇における男装のヒロイン—シェイクスピア劇の異性装について		
MdN	8月号(通巻第280号)	pp. 62-63	著書 (その他)
デザイン・グラフィック系の雑誌の特集(男装憧憬) 記事として西洋演劇の(シェイクスピア劇) 立場から寄稿。			
柏木翔、永井隼人、古谷知之	Japanese Lifestyle Migrants as VFR Hosts: A Preliminary Study		
Proceedings of the 2017 TTRA APac Conference	5	pp. 127-130	学術論文 (学会誌)
This preliminary study focused on Japanese lifestyle migrants living in Australia and investigated their characteristics as VFR hosts. Semi-structured interviews were conducted with 16 Japanese lifestyle migrants in Australia, many of whom had low levels of motivation to interact with VFR travels. They often struggled to balance daily life and hosting these visitors. In addition, families at different stages of the family lifecycle model had different characteristics and opinions about			

hosting VFR travellers.			
真下仁	〈われ〉と〈われわれ〉, 終わりなき〈自己創生〉の現象学: ヘーゲルと共に／を通して〉考える		
東海大学短期大学紀要	第 51 号	未定	学術論文 (紀要)
本論の目的は、〈われわれのわれ〉と〈われわれわれ〉と言う、二様の〈自己〉の存在論的關係を、ヘーゲルの『精神現象学』、及びそれに対するジャン＝リュック・ナンシーをはじめとする現代思想の視点からの様々な「解釈」〈と共に／を通して〉検証することで、〈われ〉と〈われわれ〉が、互いにキアスムの關係に向かい合い、そこに〈終わりなき自己＝主体創生〉として展開する現象を、在論の本質として捉えることにある。			
柏木翔、永井隼人、古谷知之	Japanese Lifestyle Migrants as VFR Hosts: A Preliminary Study		
5th Annual Conference of Travel and Tourism Research Association Asia-Pacific Chapter			学会記録 (一般発表)
This preliminary study focused on Japanese lifestyle migrants living in Australia and investigated their characteristics as VFR hosts. Semi-structured interviews were conducted with 16 Japanese lifestyle migrants in Australia, many of whom had low levels of motivation to interact with VFR travelers. They often struggled to balance daily life and hosting these visitors. In addition, families at different stages of the family lifecycle model had different characteristics and opinions about hosting VFR travellers.			
Jean L. Ware	Doing Collaborative Writing using Google Docs		
JALTCALL 2017			学会記録 (その他)
I described the process of setting up shared Google Docs, showed a “topic template” that was used in my writing class, told how Google Docs were used in class, presented examples of student writing from class, and showed example corrections that were made & discussed during class.			
柏木翔	Realization of Sustainable Tourism through Global Standards		
2017 年度日本国際観光学会全国大会			学会記録 (その他)
日本国際観光学会全国大会の基調講演 (タイトル: Realization of Sustainable Tourism through Global Standards) において、英語から日本語への同時通訳を担当。			
神山高行	日本英語表現学会 第 46 回全国大会		
日本英語表現学会			学会記録 (その他)
日本英語表現学会 第 46 回全国大会 (大阪電気通信大学、駅前キャンパス) における研究発表 (第 2 日目)、梅宮 悠氏 (早稲田大学) の Revisiting the Three Early Texts of Hamlet の司会を担当した。			
柏木翔	2017 年度宗像市観光経済効果調査		
			その他 (外部資金獲得)
本調査では、宗像市へ訪れる訪問客に焦点を当て、属性や消費額、立ち寄った場所などを定量的に調査した。道の駅むなかた、宗像大社、神湊港渡船ターミナルでアンケート収集を行い合計で 600 サンプルを収集。2017 年度の主要な点としては、2017 年 7 月に宗像・沖ノ島と関連遺産群がユネスコ世界文化遺産に登録されたことによる訪問客の訪問目的及び消費額への影響を見ることであった。			

3) その他の社会活動

- a. 専任教職員による官公庁等学外機関、本学園の広報機関等への公的な発表、専門知識や学識経験等を生かした活動

<研究業績表の見方>

発表者・活動者	テーマ・タイトル
	発表・活動の場所もしくは取組名称
	概要

<研究業績内容>

北濱幹士	宗像市学童保育所 (北エリア) 夏休み特別講座
宗像市学童保育所北エリア (河東小、赤間小、河東西小、玄海東小、玄海小) にて夏休み特別講座を実施した。身体活動による他者とのコミュニケーション作りを目的とし、各学童保育所の人数に適応した活動を行った (参加小学生は 15 名~110 名越えと幅広い)。	
北濱幹士	遊びのススメ
ルックルック講座	
吉武小学校の人権講演会の 1 つとして次の題目で実施した「楽しみながら、頭を使って、身体を動かそう!」。当日は保護者参観日であり、保護者と一緒に身体活動を行う事、そして人権講演に関する内容として、身体活動には相手 (敵) が必要である事などを交えて、ペアが必要となるコンディショニングトレーニングをメインに行った。	
北濱幹士	遊びのススメ
ルックルック講座	
日の里東小学校学童保育所夏休み講座の一環として実施。他者とのコミュニケーション作りを目的として実施した。参加小学生が約 30 名に対し、コーディネーショントレーニングを取り入れた「動」の活動と、「静」の活動を行った。	

北濱幹士	審判講習会講師
平成 29 年度 福岡県インディアカ協会主催 公認 C 級審判員認定講習会	
平成 29 年度福岡県インディアカ協会主催公認 C 級審判員認定講習会（会場：新日鐵住金大谷体育館）にて、講師を担当した。講義内容は、1) 「生涯スポーツとレクリエーション」、2) 「インディアカとその進め方」である。	
北濱幹士	宗像市学童保育所（南エリア）夏休み特別講座
宗像市学童保育所南エリア（自由ヶ丘小、自由ヶ丘南小、東郷小、日の里西小、南郷小）にて夏休み特別講座を実施した。身体活動による他者とのコミュニケーション作りを目的とし、各学童保育所の人数に適応した活動を行った（参加小学生は 25 名～60 名越えと幅広い）。	
北濱幹士	遊びのススメ
ルックルック講座	
河東西小学校学童保育所夏休み講座の一環として実施。他者とのコミュニケーション作りを目的として実施した。参加小学生が約 70 名と多かった事もあり、2つのグループに分けて、コーディネーショントレーニングを取り入れた「動」の活動と、「静」の活動を行った。	
北濱幹士	体力テスト（日本アジア国際教育センターの中国人留学生）
日本アジア国際教育センターにて日本語を学んでいる中国人留学生 6 名の体力テストを実施した。実施項目は要望があった以下の項目（50m 走、立ち幅跳び、前屈（座位）、持久走（800m）、腹筋）である。	

b. 専任教員による研究所・官公庁・民間等の学外機関から委嘱を受け、専門知識学識経験等を生かした公的活動

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
宮川 幹平	宗像市（総務課情報化推進係）	宗像市情報化推進会議委員
北濱 幹士	宗像市市民協働環境部文化スポーツ課	宗像市スポーツ推進審議会委員
北濱 幹士	株式会社テノ. サポート	宗像市学童保育所での「遊びを通してのコミュニケーションづくり」講座
原田 慎吾	福岡県立筑豊高等学校	社会人特別講師招聘事業「ネットワーク社会におけるデジタルコンテンツ」について
藤本 幸男	京都府相楽郡和束町雇用促進委員会	講師
藤本 幸男	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議	推進会議委員
藤本 幸男	宗像市郷土文化学習交流協議会	協議会委員
藤本 幸男	宗像市市史編集委員会	現代部会委員
宮川 幹平	宗像市総務部総務課	宗像市情報化推進会議委員
宮川 幹平	むなかた電子博物館運営委員会	むなかた電子博物館運営委員会役員

c. 専任教員による学会等の運営に関する活動

氏名	学会名	委員名
神山 高行	日本英語表現学会	理事
藤本 幸男	日本国際観光学会	理事 九州・沖縄部会長

d. 専任教員による外部の大学への非常勤出講

氏名	委嘱機関名	委嘱内容
矢原 充敏	西南女学院大学	非常勤講師 2017. 4. 1～2018. 3. 31 春 2 コマ、秋 1 コマ
宮川 幹平	西南女学院大学	非常勤講師 2017. 4. 1～2017. 9. 24 春 2 コマ
濱田 淳一	近畿大学	非常勤講師 2017. 4. 1～2018. 3. 31 春 2 コマ、秋 1 コマ
藤本 幸男	東洋大学	非常勤講師 2017. 9. 21～2017. 3. 20 秋 2 コマ
柏木 翔	九州産業大学	非常勤講師 2017. 4. 1～2017. 9. 14 春 1 コマ
八尋 剛規	福岡教育大学	非常勤講師 2017. 10. 11～2018. 3. 31 秋集中 1 コマ

(2) 海外活動

専任教員による海外での活動（講演・調査・研究等）

氏名	目的	期間	国名
林 大仁	TOPIK対策本執筆のための資料収集	5月25日～5月28日	韓国
チョウ アンナ	研究調査	8月8日～8月21日	中国
藤本 幸男	プロジェクト活動の一環として	9月6日～9月11日	アメリカ

(3) 科研費応募・採択状況

	応募件数	採択件数
研究分担者分	1（新規1）	1

1) 本学専任教員が研究代表者であるもの

2017年度該当者ナシ

2) 本学専任教員が研究分担者であるもの

研究課題 骨格筋幹細胞の性差：エピジェネティクス制御機構の解明とサルコペニアへの応用
研究種目 基盤研究（B）
研究分担者 岡本 武志 講師
補助金額 50万円（平成29年）

2. 研究のための条件

個人研究費は、研究の活性化および研究費の効率的運用のため、教員全員に配分される。

(1) 研究費

専任教員：17万円、特任教員：（1.17万円 2.13.6万円 3.7万円）

(2) 研究に係る経費

2017年度決算 研究経費

項目	情報処理学科	国際文化学科	合計
用品費	229,140	0	229,140
消耗品費	165,604	407,160	572,764
図書資料費	106,717	221,108	327,825
旅費交通費	253,036	819,104	1,072,140
印刷製本費	0	0	0
郵便費	0	0	0
通信運搬費	0	0	0
修繕費	0	0	0
賃借費	4,000	0	4,000
諸会費	157,650	78,000	235,650
委託費	0	0	0
雑費	0	930	930
合計	916,147	1,526,302	2,442,449